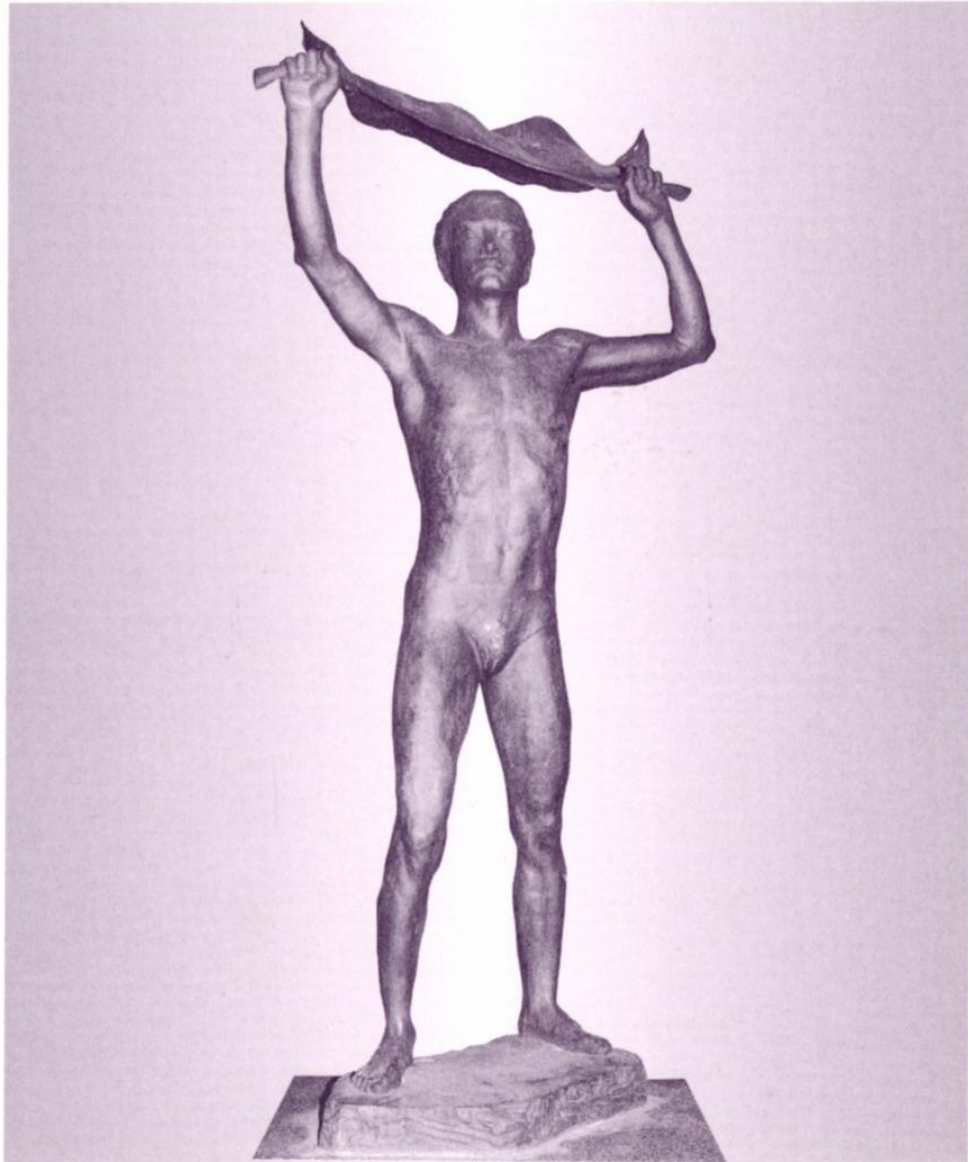


金澤北ロータリークラブ



「風」 石川県立泉ヶ丘高校

●校舎新築記念として、故・中西知事の推せんを受けて制作。

野畠耕之介 (のばた・こうのすけ) 1934年(昭和9年)～

金沢市に生まれる。昭和31年金沢美術工芸短期大学彫刻科、33年金沢美術工芸大学油画科卒業。矩幸成に師事。50・53年日本彫刻会展で日彫賞受賞。40年第8回日展に初入選、55・56年連続して特選受賞。平成元年・平成8年日展審査員。一貫して、肉体の内面と表情の質感美を基調とした男・女性像を制作。日展会員、日本彫刻会会員。

「IT時代に地方はどう生き残るか」

NHK金沢放送局

放送部長 樋口 真



今は、20世紀から21世紀に変わったばかりであります。まさに戦後経済の仕組み、社会行政の仕組み、官僚組織等全てが一度行き着くところまでいき、バブルを迎えて一度精算する時期に来ている。これが21世紀のスタートといえます。今の時代は、価値観が多様化している部分と価値観が融解していつている部分があると見ています。それは、情報のスピードがものすごく変わってきているともいえます。紙がない時代は言葉で、次に紙ができて印刷が発明される。さらには通信が発達するという具合に情報のスピードが変化してきました。これまで情報は、個から大衆へ伝えられていました。例えば、テレビは色々集めた情報を整理し社会に送り込む役割を果たしてきました。

今の時代は、情報が個から大衆へ流れるという形がなくなってきました。パソコンの普及率、インターネットの普及率を見ると明らかです。情報は個から個へ伝えられるもの、インフォーマルなものというのが今の時代なのです。

さて、地域としての石川県を次に考えてみます。石川県は、一言で言えば交通過疎県であります。この交通過疎の部分は何でカバーすればよいか、それは情報であると思います。

石川県の情報を如何に広く早く正確に発信するかにかかっているといえます。具体的に言えば、金沢のよさ、文化情報、自然環境の素晴らしさ等々を全国に発信することです。私から見ると、石川県の人々はおとなしい、別の見方をすれば落ち着いてゆったりともものを見ているというよ

さがあります。今の世の中では、スピード早く物事を処理する能力が価値があるといわれています。石川県の人はいま少し前向きに積極的に情報に取り組み、情報の発信をスピーディに行う方がよいと思います。NHK金沢放送局が金沢で認められるために何をしているかという、石川県の情報をたくさん発信する、質のよい情報を全国に発信することに努めています。全国ネットに石川県の情報を載せれば、視聴率1%で120万人の人に届くことになります。さらに金沢制作の番組を東南アジアに売り込んだりもしています。分母の多い地域に石川県の情報を発信しているのです。これがNHK金沢局が金沢にある意味だと考えています。

来年の大河ドラマも石川県を全国に知らせる一つの手段と思いますし、9月から始まる緑化フェアも石川県金沢を宣伝するよい機会だと思います。このようにネットワークをうまく使った情報発信により、価値観を共有化して地域を売り込むことができるかどうか石川県の今後の課題であると思います。



2001-2002年度米山奨学生紹介

ワン イン
王 穎

1971年(昭和46年)2月14日生まれ(30才)

母国住所 中国陝西省西安市長安中路38-6

現住所 〒921-8034
金沢市泉野町2丁目13番1号白梅寮

在籍校 金沢大学医学系研究科
大学院博士課程 4年 がん研内科学専攻

母国最終学歴 北京中医薬大学

「立派な医師になる」という夢を持ち、日本に留学してあっという間に4年経ちました。医学博士課程は私にとって大変難しく苦勞の連続。言葉は勿論、医学の知識や遺伝子工学の技術を勉強しなければなりません。膵、胆道癌における遺伝子診断の研究に取り組んでおります。生命科学の最先端の技術を駆使する必要があり、多くの困難を伴っております。研究がうまくいかなかった時は辛かったし、異文化の中で誤解された時は孤立無援だったし、ホームシックになった時には本当に寂しかったです。

嬉しかった時もあります。「アジア交流まつり」に思い切って参加し、生徒を教えながら一緒に

踊りました。その時、「才能がない私は大丈夫なの？」と自分に疑問を持っていました。でも、楽しかった、挑戦してよかった、チャレンジすることが大切だと思いました。又、「国際交流教室」に出席した時は、大勢の学生の前でスピーチしました。「照れ屋さんの私はできるの？」と緊張しましたが、無事に終わらせることができました。子供達の真摯な姿が私の心を打ち、生き生きとした表情が今も目に浮かびます。更に、米山奨学会から奨学金を頂いたり、「Japan Tent」で日本の伝統文化を体験したり、ホームステイで優しい日本の方と過ごしたりできたことは本当に感激で胸が一杯になりました。

日本に留学して、専門の勉強だけではなく、いろんな事ことを体験したり、国際交流及び相互理解を深めることができ、一生の貴重な思い出になると思います。異国での生活は大変ですけども、私は日本で有意義な留学生活を送っております。

“本年度特別企画 十回シリーズ講話”

大場松魚先生 第1回(7月12日)「私の歩んだ道 開けゴマ」

第2回(8月2日)「絵日記(図案日誌)」

下郷 稔先生 第1回(7月26日)「加賀藩初代藩主・前田利家」

8月予定

2日(木) 例会・理事会 第2回講話 大場松魚氏
9日(木) 納涼夜間例会 親睦委員会にて計画
16日(木) 休会(旧盆のため)
23日(木) 例会 第2回講話 下郷 稔氏
30日(木) 例会 講話 ガバナー補佐

9月予定

6日(木) 例会 第3回講話 大場松魚氏
13日(木) 例会・理事会 講話 越野民男会員
20日(木) ガバナー公式訪問
27日(木) 例会 講話 釈迦院泰雄氏
(財)石川県長寿生きがいセンター専務理事

ニコニコボックス

8月2日

百万石RC 市島明子君

漆をやって25年目ですが、梅雨から夏にかけて、この時期は未だに漆にかぶれます。大場先生のお話、心配しつつ、楽しみにしています。

合田君 講師に大場松魚先生をお迎えして。今回もよろしくお願い致します。各委員会の炬辺会合が一応、一通り終わった様です。各委員長さん大変ご苦勞様でした。

卯野君、渡邊君

講話に大場松魚氏をお迎えして。

乙村君 どこまで続く、この暑さ。大場先生のお元気にあやかって、皆さん頑張らしましょう。

越野君 31カ年の皆出席顕彰を頂きありがとうございます。大分、疲れはてました。

長谷川君、坂口君

大場先生のお話、楽しみです。カチャチャンも一緒です。

西方君 大阪支店にて優良工事表彰を受けました。

奥田君 大安の日に、お花をいただきました。

合計 35,000円(累計 182,000円)

8月9日

合田君 歴代会長の皆様、金沢北RCを今日まで育てて頂き、ありがとうございました。濱井親睦委員長、今日の納涼夜間例会のお世話大変ご苦勞様でした。

卯野君 越田壮君、お帰りなさい。今後の成長を期待致します。濱井君 本日は暑さ厳しき中、納涼夜間例会に、会員の皆様並びに奥様方の大勢のご参加を頂き誠にありがとうございます。僅かなひと時ですが、暑さを忘れて愉しくご歓談下さい。

親睦委員会一同

本日はようこそ、楽しい一夜をお過ごし下さい。

合計 13,000円(累計 195,000円)

納涼夜間例会

平成13年8月9日(木) 於：金沢国際ホテル



恒例になりました納涼夜間例会には、暑さ厳しい中、またお疲れのところ、会員の皆様並びに奥様方の大勢のご参加を頂き誠にありがとうございました。ゲストに「歌う似顔絵描き」の桜小路富士丸さんを御迎えして、楽しいひと時を過ごす事が出来ました。又、会員相互の親睦を深める一助となりましたことを嬉しく思います。

各位の御協力を感謝致します。

親睦委員長 濱井弘利

第1366回例会

◆8月2日(木)はれ 12:30~13:30 松魚亭

1. 講話

人間国宝 大場松魚氏
「絵日記(図案日誌)のお話」

2. 出欠

出席 53名 欠席 20名 出席率 72.60%
ビジター 11名

3. 来訪者(敬称略)

金沢RC 稲崎祥二 橋本一次
金沢東RC 田口健一
金沢西RC 辻卓 徳岡研三 宗廣満夫
金沢南RC 得能節朗 中谷啓一
香林坊RC 森川祐吉 室野吉雄
百万石RC 市島明子

4. 幹事報告

○米山奨学生、王さん来会。

5. 皆出席顕彰

31カ年 越野民男君

23カ年 魚住

6. お誕生日祝(敬称略)

1日 奥田久雄 7日 岡田進
10日 鈴木透 12日 二塚長生
13日 五十里英弘 22日 松田忠秋

第1367回例会 納涼例会

◆8月9日(木)はれ 18:30~20:30

金沢国際ホテル

1. ゲスト

「歌う似顔絵描き」桜小路富士丸氏

2. 出欠

出欠 39名 欠席 34名 出席率 53.42%
ご夫人 24名 越田 壮君

理 事 会 報 告

8月2日(木) 出席者 19名

◆浅野川クリーンキャンペーンの件

8月26日(日)開催 15万円の後援金

◆各委員会報告

- 友好 11月29日(木)~30日(金) 京都訪問
- 広報 各委員会の活動報告を随時、お知らせ頂きたい。
- 修練 四つのテストパネル権の件

◆その他

- 規定審議会決議報告書説明会に出席した卯野幹事より報告あり。

会 長：合田 昌英 S A A：内山 正義
会長エレクト：佃 一成 会 計：畠 善昭
副 会 長：米澤 修一 広報委員長：乙村 舜吉
幹 事：卯野 正博 会 員 数：75名
副 幹 事：玉田 善明 クラブ設立：昭和48年10月3日

例会日：木曜日 12:30~13:30
例会場：松魚亭 金沢市東山1-38-30
TEL<076>252-2271 FAX252-2273
事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所内
TEL<076>222-2525 FAX224-2882



この会報は再生紙を利用しています。